児童期から思春期までの母親の養育スキル（2）

—母子が認知する母親の養育スキルの学年差と性差—

○平石賢二¹・渡邊賢二²

(¹名古屋大学大学院教育発達科学研究科・²皇學館大学教育学部)

キーワード：母親の養育スキル，思春期，児童期

The parenting skills of mother from childhood to puberty(2)

Kenji HIRAISHI¹ and Kenji WATANABE^{2,*}

(¹ Nagoya University, ² Kogakkan University)

Key Words: parenting skills of mother, puberty, childhood

目 的

渡邊・平石(2007)は、中学生の子どもの思春期的変化に対応し、子どもとの良好な関係を構築・維持するための相互調整的な養育態度を養育スキルと命名し、その構造と関連する要因について明らかにした。本研究では、対象となる子どもの年齢を小学校高学年まで拡大し、母子が認知する母親の養育スキルの学年差と性差を検討することを目的とする。

方 法

1. 調査対象者：小学5年生から中学3年生までの子どもとその母親1612組（男761名，女850名，不明1名；小学5年270名，6年213名，中学1年418名，2年397名，3年313名）を対象とした。
2. 調査時期：2013年10月から11月
3. 実施手続き：担任教諭を通じて調査用紙を生徒に配布し，母子が自宅で実施し，回答後に学校で回収した。
4. 調査内容：(1)母親：子どもの学年と性別，母親用の養育スキル尺度16項目（渡邊，2011）を6件法（1-6点）で尋ねた。(2)子ども：学年と性別，子ども用の養育スキル尺度16項目（渡邊，2011）を6件法（1-6点）で尋ねた。

結果と考察

1. 養育スキル下位尺度得点の学年・性別の平均と標準偏差
渡邊・平石(印刷中)の因子分析結果に基づき，養育スキルの下位尺度を「理解尊重スキル」と「道徳性スキル」とし，母子の認知する養育スキルの下位尺度得点を学年・性別毎に算出した（Table1を参照）。
 2. 養育スキル下位尺度得点の分散分析
続いて，母子双方の養育スキル下位尺度得点の学年差，性差，交互作用を検討するために，2要因分散分析と事後分析としてTukey法による多重比較を行った（Table2を参照）。
- 学年の主効果に関しては，母親の報告による理解尊重スキル得点を除くすべてにおいて有意な学年差が認められた。母親の認知する道徳性スキル得点では，中1と小5の得点が中3の得点よりも有意に高かった。子どもの認知する理解尊重スキル得点と道徳性スキル得点では，小学生の得点が中学生の得点よりも有意に高いという特徴が認められた。渡邊(2013)では中学生の子どもをもつ母親の認知する養育スキル得点の学年差を報告しているが，中1の得点が中2，中3よりも有意に高いという結果となっており，本研究の結果と類似していた。母親と子どもの報告は必ずしも完全に一致してはいないが，母親の養育態度は小学生と中学生の間もしくは中1くらいまでを境にして変容する可能性が示唆された。
- 性主効果については，母親の報告による道徳性スキル得点を除く3つの下位尺度得点において有意であり，女子が男子よりも有意に得点が高かった。養育スキル得点の性差については，渡邊(2013)でも一致する結果であった。
- 交互作用は4つの下位尺度得点すべてにおいて有意ではなく，この結果も渡邊(2013)と一致していた。

Table 1 母子の認知する養育スキル得点の平均値と標準偏差

	性別	小5	小6	中1	中2	中3
母親	理解尊重スキル	男 4.60(.51)	4.64(.56)	4.45(.57)	4.55(.60)	4.43(.66)
		女 4.66(.56)	4.55(.65)	4.64(.65)	4.59(.70)	4.57(.66)
	道徳性スキル	男 5.29(.54)	5.28(.55)	5.20(.53)	5.25(.60)	5.17(.56)
		女 5.33(.55)	5.28(.61)	5.38(.52)	5.22(.62)	5.15(.56)
子ども	理解尊重スキル	男 4.60(.84)	4.64(.88)	4.15(.91)	4.28(.94)	4.11(.98)
		女 4.85(.78)	4.51(.86)	4.46(.90)	4.49(1.02)	4.38(.97)
	道徳性スキル	男 5.21(.74)	5.29(.72)	5.02(.86)	5.01(.79)	4.90(.83)
		女 5.36(.68)	5.21(.79)	5.17(.71)	5.19(.73)	5.10(.74)

注)括弧内の数値は標準偏差

Table 2 母子の認知する養育スキル得点の2要因分散分析・多重比較の結果

	性差	学年差	交互作用
母親	理解尊重スキル	F(1,1527)=5.12*	F(4,1527)=1.70 n.s. F(4,1527)=2.02 n.s.
		男<女	
	道徳性スキル	F(1,1548)=1.46 n.s.	F(4,1548)=3.50** F(4,1548)=1.94 n.s.
			中3<中1,小5
子ども	理解尊重スキル	F(1,1539)=14.62***	F(4,1539)=12.80*** F(4,1539)=2.11 n.s.
		男<女	中1, 中2, 中3<小5 中1, 中3<小6
	道徳性スキル	F(1,1570)=9.05**	F(4,1570)=6.37*** F(4,1570)=1.23 n.s.
		男<女	中1, 中2, 中3<小5 中3<小6

注) ***:p<.001, **:p<.01, *:p<.05 下段は多重比較Tukeyの結果

引用文献

- 渡邊賢二(2011). 母子が認知する母親の養育スキルと子どもの心理的適応との関連 家庭教育研究所紀要, 33, 12-22.
- 渡邊賢二(2013). 思春期の母親の養育態度と子育て支援-母親の養育スキルとは ナカニシヤ出版
- 渡邊賢二・平石賢二(2007). 中学生の母親の養育スキル尺度の作成-学年別による自尊感情との関連- 家族心理学研究, 21, 106-117.
- 渡邊賢二・平石賢二(印刷中). 児童期から思春期までの母親の養育スキル(1)-母子が認知する母親の養育スキルの因子パターン- 日本心理学会第78回大会発表論文集.